

「岩手山」ジュニア体験登山報告

開催日時 平成21年8月8日(土)～9日(日)
参加者 子供 14名 父兄 15名 計29名
小1 女子2名 男子1名 小2 女子1名 小3女子1名 男子
1名
小4 女子5名 小5 女子2名 男子1名
子供計 女子11名 男子3名
スタッフ 植田 山口 中村 小林(巖鷲山岳会)

8月3日 8時馬返し登山口に集合し、高橋会長挨拶後、普及部長・山口副部长より諸注意事項等伝達してストレッチ後、孫の付き添いで参加した波岡さんを先頭として、8時20分に東屋を出発し一路頂上を目指した。

初めて岩手山に挑戦する親子も何組かあった中、梅雨の明けきらぬ曇りベースの中ではあるが、晴れよりも参加者には登りやすい天気と言えた。

11組29名の参加となり、一組は三代(祖父母・両親・子供)の参加があった。

改所8時40分→二セコガ8時50分→ぶな分岐9時00分→一合目9時20分

一合目までにやや遅れ気味の三代参加の祖父が、かなりバテはじめていて、ここで下山したいとのことであったので、一合目でもあり改めて登りなおすことのないように話して、一人で下山していただいた。

一合目9時30分出発→二合目9時50分・10分休憩して10時00分出発→新道を通って三合目10時20分5分休憩し10時25分出発し、せっかくの岩手山でもあり、天気も悪くなる様子もないので、岩場も経験させようと旧道に入り四合目に10時55分着休憩して、11時10分出発→五合目11時40分着し、ここで昼食休憩をとり12時00分出発した。

この辺からガスも出たりするが馬返し駐車場も見え隠れする中、小1の女の子が弱気を吐きながらも、それほど遅れることなく、予定時間よりも30分ほど遅いペースであるが皆順調である。

六合半12時40分通過、この辺から雲の上に出る。

七合目近くではお鉢も見え13時20分八合目に到着した。

小屋にて予め小屋管理人に寝床の準備をしていただいた所に、それぞれ寝場所を決め休憩後、14時10分頂上を目指し出発し15時15分28名全員が無事登頂を果たした。

山頂付近はまだコマ草も咲いており、お花畑も見ることが出来まますの眺めであった。

同じ道を下山し小屋に16時10分到着となる。

17時過ぎにベランダにテーブルを準備して、スタッフの小林調理の、ちらし寿司と巖鷲の山走が背負ってきたスイカや唐揚げ、ワンタンスープ等参加者全員が美味しと全部平らげ評判が良かった。

暗くなってから花火を行い20時に消灯就寝となった。

8月4日 4時過ぎに雲間からの御来光を見ることが出来それなりに岩手山登頂の感動があったと思われた。

その後、ご飯・納豆・レトルトの卵どんぶり・味噌汁等で朝食を済ませ、食器の後かたづけ、小屋・トイレ等の清掃を経験してもらい下山を開始した。

下山は新道を利用して上りと同じくらい時間をかけて下り、誰一人バテルことなく馬返し登山口に到着した。

今回は日本山岳協会のジュニア育成事業の「少年少女登山教室」を活用して取組み、最後に日本山岳協会の終了書と参加記念バッヂを1人ひとりに手渡して、2日間の労をねぎらい、名残は尽きなかったが解散となった。

親子登山は2年くらい前から計画し実行してきたが、昨年と比較すると進歩の跡が見られた。

次年度は今年度の反省を踏まえ、より実りある登山教室を行う予定です。

当日の小屋管理人、小屋当番であった山岳会には大変お世話になり有難うございました。

登山普及部 中村記